

May 29, 2019

**【前日の為替概況】ユーロドル、イタリア財政問題への警戒感から1.1159ドルまで続落**

28日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは続落。終値は1.1160ドルと前営業日NY終値(1.1194ドル)と比べて0.0034ドル程度のユーロ安水準だった。「イタリアの財政赤字を巡り、欧州連合(EU)の欧州委員会が課徴金を命じる可能性がある」との報道を手掛かりに全般ユーロ売りが進んだ。モスコビシ欧州委員(経済・通貨担当)が「イタリアに対する制裁を支持しない」と述べると、1.1198ドルと日通し高値を付ける場面もあったが戻りは鈍かった。イタリア長期金利の上昇やドイツ長期金利の低下を眺めて再びユーロ売りが優勢となった。

5月米消費者信頼感指数が134.1と予想の130.0を上回ったことでドル買いが活発化したこともユーロドルの重し。市場では「月末が近づくなか、ロンドン16時(日本時間24時)のフィクシングに絡んだユーロ売り・ドル買いが出た」との指摘もあり、一時1.1159ドルと日通し安値を付けた。

ドル円は小反落。終値は109.38円と前営業日NY終値(109.51円)と比べて13銭程度のドル安水準だった。日本時間夕刻に一時109.21円と日通し安値を付けたものの、対ユーロ中心にドル高が進むと円に対してもドル買いが優勢となった。「中国はレアアースの対米輸出制限を真剣に検討している」との一部報道が伝わると、円買い・ドル売りで反応したものの下押しは限定的だった。予想を上回る米消費者信頼感指数が相場の支援材料となり一時109.61円付近まで値を上げた。

ユーロ円は反落。終値は122.06円と前営業日NY終値(122.56円)と比べて50銭程度のユーロ安水準。ドル円の上昇につれた買いが入り122.63円付近まで上げたものの、ユーロドルが下落すると失速。一時は130ドル超上昇したダウ平均が失速し240ドル超下落すると122.00円と本日安値を付けている。

ポンドドルは取引終了間際に一時1.2651ドルと日通し安値を付けた。退陣を表明したメイ英首相の後任を選ぶ与党・保守党の党首選では、「合意なき離脱」も辞さない面々が有力視されており、市場は先行き不透明感が高まっている。

**【本日の東京為替見通し】ドル円、米中貿易戦争への警戒感から軟調推移か**

本日の東京市場のドル円は、黒田日銀総裁の講演以外は主要な経済指標やイベントの予定がないことで、米中貿易戦争や日米通商協議に関連するヘッドラインに警戒しつつ、日経平均株価や上海総合指数の動向を見極めていくことになる。

ドル円のテクニカル分析では、ダブル・トップ(112.14円・112.40円)を形成後、200日移動平均線を下抜けて「三役逆転」の売りの時代となり、窓(111.07円・110.96円)を空けて、ネック・ライン109.71円を下回り、下値最小目標値107.02円を目指す下落トレンドを形成している。

黒田日銀総裁の講演では、米中貿易戦争の激化懸念、消費増税の延期への憶測が強まる中での金融スタンスを見極めることになる。

米中貿易戦争に関しては、米中通商協議の予定がないことで、6月28-29日の大阪サミットでの米中首脳会談に向けたカウントダウンが続いており、関連ヘッドラインに要警戒か。

昨日は、「中国はレアアース(希土類)の対米輸出制限を真剣に検討している」との報道もあり、米国が約80%を依存している中国のレアアースの禁輸措置の可能性に要警戒となる。トランプ米政権は、対中制裁関税では、レアアースを除外しており、レアアースの禁輸は、米国ハイテク産業のアキレス腱となっている。

日米通商協議に関しては、トランプ米大統領が、7月の選挙(elections:複数形)の後、8月に農産物・牛肉に関する合意の可能性を示唆したことで、7月の衆参同日選挙の可能性、8月の日米通商協議での日本側の大幅譲歩の可能性が高まっている。さらに、トランプ米大統領は、消費増税は、消費税輸出戻し税による輸出企業への補助金と見なしていることで、延期される可能性にも要警戒となる。

ドル買い材料は、日米通商交渉が7月の参議院選挙後に先送りされ、自動車関税の発動が6カ月延期され、対米自動車輸出の数量制限が回避される可能性、などが挙げられる。

ドル売り材料としては、米中貿易戦争が激化する可能性、中国による米国債売却の可能性、朝鮮半島や中東の地政学リスク、などが挙げられる。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

○09:00 ◎ 黒田日銀総裁、あいさつ

## &lt;海外&gt;

○08:00 ◎ オア・ニュージーランド準備銀行（RBNZ）総裁、記者会見

○10:00 ◇ 5月NBZ企業信頼感

○15:45 ◇ 4月仏卸売物価指数（PPI）

○15:45 ◇ 4月仏消費支出（予想：前月比0.4%）

○15:45 ◇ 5月仏消費者物価指数（CPI）速報値（予想：前月比0.2%/前年比1.1%）

○15:45 ◎ 1-3月期仏GDP改定値（予想：前期比0.3%）

○16:00 ◇ 5月スイスKOF景気先行指数（予想：95.9）

○16:30 ◎ 1-3月期スウェーデンGDP（予想：前期比0.2%）

○16:30 ◎ メルシュ欧州中央銀行（ECB）専務理事、講演

○16:55 ◎ 5月独雇用統計（予想：失業率4.9%/失業者数変化▲0.8万人）

○17:00 ◎ レーン・フィンランド中銀総裁、講演

○20:00 ◇ MBA住宅ローン申請指数

○23:00 ☆ カナダ銀行（BOC、中央銀行）、政策金利発表（予想：1.75%で据え置き）

○23:00 ◎ 5月米リッチモンド連銀製造業景気指数（予想：6）

○30日 02:00 ◎ 米財務省、7年債入札

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

28日 09:28 麻生財務相

「2年前からトランプ米大統領から為替の話が出たことはない」

「為替条項などの話が出たということはない」

「日米貿易に関して、結構理解が深まった」

「日米双方ウィンウィンの方角に進んでいる」

28日 16:47

「日米貿易交渉の継続、難しい問題はあっても最終的には一緒にやっていける」

「日本の自動車メーカー、対米輸出台数の2倍米国で生産」

28日 09:56 茂木経済財政相

「(トランプ米大統領の8月合意発言は)迅速に協議進めたいとの発言と理解」

「次回の貿易交渉協議は決まっていない」

28日 16:09 サルビーニ副首相(同盟党首)

「EUが30億ユーロの課徴金を伊に課すのならば、その古びた財政規律に全力で戦う」

28日 16:16 イラン外務省報道官

「米国と交渉する予定はない」

28日 16:47 ビルロワ・仏中銀総裁

「低金利の維持は経済状況の観点から見れば、完全に正当化され、必要とされている」

「マイナス金利の影響を評価するには時間が必要」

28日 18:30 モスコビシ欧州委員(経済・通貨担当)

「イタリアに対する制裁を支持しない」

「我々はイタリアと意見を交換しようとしている」

28日 18:44 インダーガンド・スイス政府シニアエコノミスト

「今年のスイス成長率が平均を下回るとのベースシナリオを変更しない」

「力強い第1四半期GDPを受けても、見方に大幅な変化なし」

28日 19:26 英首相報道官

「EUと以前に合意した協定案ではなく、離脱を進めるために別の案を探し出す」

「英政府は合意なき離脱への準備も継続」

29日 00:31 ユンケル欧州委員長

「自分の後継者について今日は決定しない」

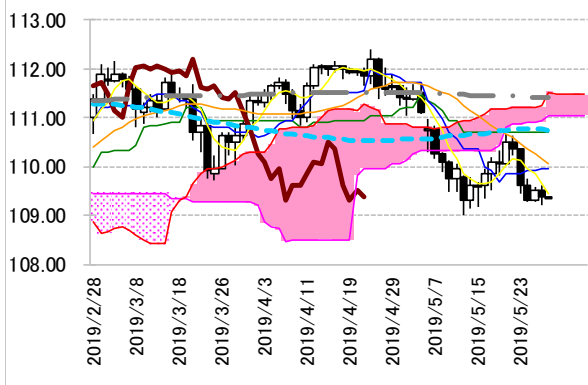
29日 00:59 ゴープ前英環境相(保守党党首選候補)

「保守党はいかなる選挙があっても罰を受けて、コービン党首が率いる労働党に敗北するだろう」

「ブレグジット前に選挙があれば、ブレグジットは無効になるだろう」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

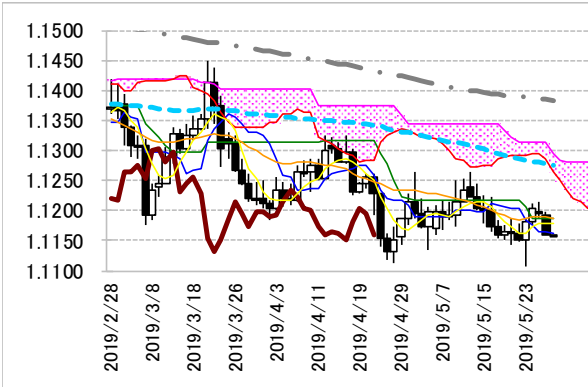


### <ドル円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。ダブルトップ（112.14円・112.40円）形成後の窓（111.07円・110.96円）明け、3手連続陰線で下値目標値107.02円を目指す下落トレンドを形成中。

本日は、ネックライン109.71円を念頭に置き、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	109.94(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	109.38
サポート1	108.50(1/31 安値)
サポート2	107.77(1/10 安値)

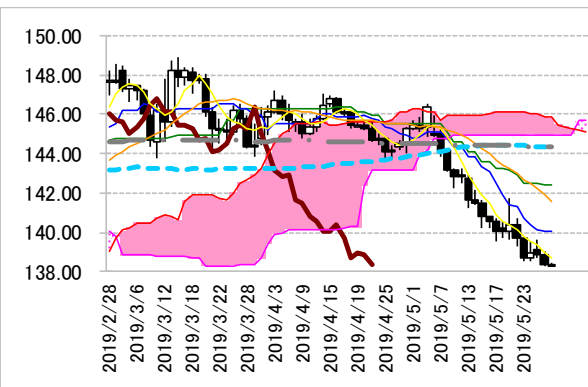


### <ユーロドル＝雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。

本日は、一目・雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1264(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	1.1160
サポート1	1.1107(5/23 安値)

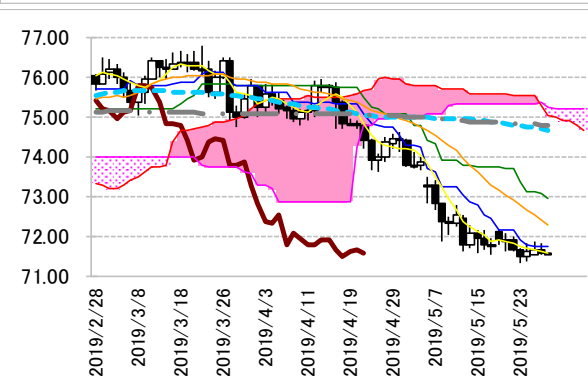


### <ポンド円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	140.02(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	138.39
サポート1	137.45(1/10 安値)



### <NZドル円＝基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

小陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	72.95(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	71.55
サポート1	70.92(5/8-10の上昇幅の下方倍返し)

